

## 支部長ご挨拶

柴田百合子

日頃から支部活動にご協力、ご理解をいただき厚く御礼申し上げます。村上支部長として2年目を迎え、今年度の支部活動も役員の方々と共に予定通り進めることができました。支部集会後の講演会では、ストレスの多い看護の職場で、輝く心と体と思考の作り方について学ぶことができました。病む人のケアを担う看護職がいつも輝き元気であることは難しいですが、多くの会員の皆様に活かされることを期待しております。また、三職能合同研修会では、テレビドラマ「コウノドリ」のモデルとなった産婦人科医師 荻田和秀先生にご講演を頂きました。チーム活動には何が必要なのか、看護職が地域で活躍することの意義など、医師の立場から熱いメッセージを頂きました。

看護職は地域の医療、介護の提供体制の変化を見定め、その変化に対応しながら地域住民のニーズに応じていくことが求められます。一方でこの地域では看護職員の確保が困難な状態が続いており、安定した人員確保のためには、看護職が働き続けられる健康で安全な職場の実現が重要です。看護職を取り巻く環境は多くの課題を抱えています。微力ではありますが役員一同、会員の皆様にとって有益な研修会や活動を企画し、現場の問題が少しでも解決できるよう取り組んでいきたいと考えます。支部の活動に多くの方の参加をお待ちしております。

## 血管年齢について考えよう！

2018年9月22日(土)

新潟看護医療専門学校村上校において、看護に触れ、自身の健康について考える場として出店しました。血管年齢の測定・血管を若く保つためのワンポイントアドバイス・キッズ看護体験等を実施しました。多くの方に参加して頂き、健康への関心を高める機会となりました。



## 三職能合同研修会

2018年10月27日(土)

「看護職が医療の現場で生き生きと働くために必要なこと」

～周産期医療の現場で働く産科医の立場からのメッセージ～

りんくう総合医療センター産婦人科 荻田和秀先生を講師に迎え、産婦人科医として現場でどのようなチーム医療を行っているのかを実例をもとに医療安全に対するツールやコミュニケーション方法を教えて頂きました。改めてチーム医療について考えさせられる良い機会となりました。教えて頂いたチーム医療に対する考え方を日々の看護業務に活かしていきたいです。



## 村上支部 通常集会

2018年6月16日(土)

「心と体のセルフメンテナンス～輝く心と体と思考の作り方～」

水科江利子先生を迎え、ブレインジムについて教えて頂きました。ブレインジムとはシンプルな身体の動きを伴うエクササイズにより心と体全体を統合し、能力を高めていくことを言います。また、ストレスを開放することにより人が本来持っている体の機能を回復したり、活性化する効果が期待できます。誰でも簡単にできるケア方法のため毎日、生き生きと楽しく過ごせるよう取り入れていきたいものです。



## 編集後記

平成の時代もあとわずかとなり、新たな元号に対する期待や寂しさなど複雑な心境です。また、今年は暖冬なのかと油断をしていましたが、新潟の冬はやっぱり寒いですね。ご健康にはくれぐれもお気を付けください。 <事務局 村上記念病院>

**注目！！ 平成31年度村上支部通常集会は平成31年6月15日(土)です。**